

琵琶湖博物館学芸員の新著

『伝承と現代—民俗学の視点と可能性』が刊行されました

琵琶湖博物館の加藤秀雄学芸員が執筆した『伝承と現代—民俗学の視点と可能性』が勉誠出版社から刊行されました。本書は、伝承をキーワードとする専門的学術書で、従来の民俗学における伝承研究の批判的検討を行い、現代における伝承の力を問い直す視点を提起しています。内容は三部構成で、全国の様々な伝承の実態が分析されていますが、第四章では滋賀県の事例も取り上げられています。本書でなされた議論により、近年、盛んになりつつある民俗学における理論研究の、さらなる活性化が期待されます。

記

- ・書名：『伝承と現代—民俗学の視点と可能性—』
- ・著者：加藤 秀雄(琵琶湖博物館学芸員)



<目次> *サブタイトルは省略

序章 本書の問題意識と課題

第一部 伝承概念再考

第一章 伝承の研究史

第二章 伝承概念の脱/再構築のために

第三章 伝承研究の現代的課題

第二部 伝承の仕組みと動態

第四章 役割交替と伝承の相関性

第五章 伝承意識と伝承の変化

第六章 伝承の仕組みと動態をめぐる考察

第三部 現代社会と伝承

第七章 伝承の変化に見る高度経済成長

第八章 システムと伝承

第九章 伝承と自治の再生に向けて

終章 本書のまとめと今後の課題

・体裁：A5判 368ページ 上製本 本体価格8,800円(税10%込)

・発行：勉誠出版 2023年2月発売

・紹介ページ：[伝承と現代—民俗学の視点と可能性 | 勉誠出版](#)

・入手できる場所：琵琶湖博物館ミュージアムショップ・おいでや、
県内の書店、またはインターネット販売